

特集

実践力向上のための
「臨床判断モデル」

なぜ臨床判断モデルなのか Christine Tanner 講演録

「臨床判断モデル」基礎教育の導入の可能性と展望について
三浦友理子「臨床判断モデル」に基づいた学習の内容と評価について概
念を基盤とした学習 (Concept — based learning
activities) と、ループリック評価 (LCJR)

喜吉絃子 / Ann Niesen / Kathy Leaster

OCNE の構成, カリキュラムについて 奥裕美

【連載】

グループワークの“達人”への道・3 三浦真琴

東西南北! 学生募集旅日誌・3 高塚由紀子

考える力を育てるシンキングツールの活用・6 黒上晴夫

笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命!・9 W マコト

宮子あずさのエキサイティング Writing・21 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・29

斉藤奈緒美 / 石川雅彦

編集後記

●7号に引き続き、論理的思考が特集テーマです。前号で刈谷先生が書かれていましたが、本来「オーラル・コミュニケーション」の場面だけで、論理的に考える力を身につけることはできないので、「論理的に話す力」を発揮するためにも、「読んで、書く」トレーニングが必要です。ですので、今回はそのトレーニングの実践について福澤先生と佐渡島先生に書いていただきました。まず教員が論理的に整理された文が書けないと、学生に指導することもできないので、ぜひとも紹介されたトレーニングを試してみてください。●ただ、その前に「なぜ論理的に書かなくてはならないのか」「どういうときに論理的に書かなくてはならないのか」と自問してから始める必要があります。「なぜ」「いつ」の想定は、教育や看護の場面に限らず、生きていくすべての局面において欠かせない姿勢だと思います。……大野

●今年もエッセイの季節がやってきました。皆さんはどれがお好みでしたか。柳田邦男さんと宮子あずさんがそれぞれ賞として選ばれた作品の色合いがまったく異なっている(?)のはおもしろいです。エッセイというジャンルの豊かさではないかな、と思います。●編集部でも作品を鑑選しながら選ばせていただくのですが、私が道しるべとしているのは、あるエッセイ教育のスペシャリストに教えていただいた、ポール・リクルールの「私の人生を物語ることは必然的に他者を物語ることもある」という言葉。両審査員賞の受賞作は、どちらも他人がくっきりしていて、そのぶん、書いた方の気持ちが伝わってきました。そうそう、他人の豊かさが重要、という点では、看護とエッセイって似ていると思いませんか? もっと看護教育にエッセイが広がらないかなーと思っています。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第57巻 第8号 2016年8月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体2,200円+税

2016年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版 15,540円, 冊子+電子版/個人 18,540円, 電子版/個人 15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/16/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.57 No.7

2016 年 7 月

特集

論理的に話そう！

「もっと論理的に考えたらどうだ」「論理的に考えたらこうなる」。このように言われたり、言ったりしたことがある人は少なくないでしょう。実は、ここには「論理的」という言葉に対する大きな誤解が潜んでいます。実際は、「論理的に考える」のではなく、いったん考えたことを振り返った後「論理的に整理する」のです。これが大事なポイントです。同様に、看護教員が講義、会議、学会などで求められる、「論理的に話す」ということも、「論理的に考えを整理してから話す」という意味になります。

今回の特集は、「論理的」という言葉の誤解を解いたうえで、いかにすれば論理的に話すようになるのか、その思考過程や具体的な方法を、読者の皆さんに提供すべく組まれたものです。そもそも「論理的」とはどのようなことなのかという解説をふまえて、ふだんの生活のなかでの「非論理的」な会話や話し合いの実際例などをみることで、論理的に話すための学びのきっかけをつかんでいただければと考えています。教員が「論理的に話す」ことができるようになれば、その意味や方法を学生にも伝えることができますし、「論理的に考えを整理してから話す」ことで、発言の目的を相手に正確に伝えることができます。これが社会生活を送るうえでも重要なのは、言うまでもないでしょう。さらに、一般的には「論理的に書く、聞く、読む、話す」の4つは、異なる出力形態をとるため、あたかも別ものとしてとらえられがちですが、考えを振り返り論理的に整理してから行う、という点においては実は同じことです。今回は「話す」に焦点を当てていますが、次号の「論理的に書こう！」特集も、ぜひ併せてご覧ください。

■【対談】「根拠」と「主張」をつなぐものについて考えよう——論理的に話すために教員ができること…福澤一吉／中尾みさ子

■「論理的に話す」とはどういうことか——Part1 「論理的思考」という表現の誤解を解く……………福澤一吉

■「論理的に話す」とはどういうことか——Part2 論証に必要な「論拠」について理解する……………福澤一吉

■会話を対話にするために——違いを知りトレーニングしてみよう……………蓮行

■論理的・批判的に考える力をつける方法……………刈谷剛彦



Vol.57 No.6

2016 年 6 月

特集

看護過程再再考

小誌 56 巻 7 号「看護過程再考」につづく特集です。「看護過程」が看護の教育上、重要であるということ、そして同時にそれ自体が看護ではないことは、皆さんに共有された認識と言えるのではないのでしょうか。

現状では、ペーパーバイシメントでの演習、実習の計画・記録・評価など、看護教育の非常に多くの部分で看護過程が活用され、教育のなかで「看護過程」への比重が非常に高くなっています。これは、看護過程は看護教育の1つの側面ではないという前提との、大きな離れではないかと考えます。

前回特集では、「看護過程」を補完するものとして、臨床判断モデルをご紹介しましたが、今特集では、前回の「看護過程をどう教えるか」の部分を受け継ぎ、より実際の教育の観点から、「看護過程」の教育について、生のお声をお届けいたします。

「看護過程」をどう教えるか、の前に大きな問いとしてある、「看護過程」を用いて看護をどのように教えるか、再び考えていただく機会となれば幸いです。

■今こそ考える、これからの「看護過程」の考え方、教え方……………池西静江

■実践的な「気づき」を学ぶ必要と、その可能性について——看護過程と「臨床判断モデル」から……………佐藤尚治

■看護過程の記録に頼らない、看護の実践的知識を深める教育……………糸賀暢子

■基礎看護学で教授したい「看護過程」とその工夫——デジタルストーリーとワークショップ……………村中陽子



【2016 年 5 月号 (Vol.57 No.5)】

「気持ちのいい」ケアを
教えよう！

【2016 年 2 月号 (Vol.57 No.2)】

看護観の伝承

【2016 年 4 月号 (Vol.57 No.4)】

あなたの「見方」に現象学を

【2016 年 1 月号 (Vol.57 No.1)】

形・型・可で技術教育の
「安楽」を考えよう！

【2016 年 3 月号 (Vol.57 No.3)】

カリキュラムを
「拡張」しよう！

【2015 年 12 月号 (Vol.56 No.12)】

グラフィック・シラバスとカリキュラム・マッ
プ 授業とカリキュラム「見える化」しよう！

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014 年 6 月号 (Vol. 55, No. 6) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.taobook.com/>)
- 2014 年 7 月号 (Vol. 55, No. 7) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。